

春日市総合戦略に関する アンケート調査

調 査 票



【ご協力をお願いします】

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、我が国は人口減少期にあるとともに都市部への人口集中が進んでいる状況です。本市においても、今後、人口が減少していくことが想定されており、定住人口と雇用の確保は喫緊の課題となっています。

このため、本市では産業の振興及び雇用の促進等を図るため、「第3期春日市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和7年度～令和12年度）」の策定作業を行っています。

このアンケート調査は、市内に立地する事業者の皆様により市内での企業活動における特徴をお聞きし、戦略策定に反映させるだけでなく、今後の市内における産業振興や雇用、居住のあり方を考えるための貴重な資料といたします。ご記入いただいた調査票はすべて統計処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和6年7月

春日市長 井上 澄和

📌 ご記入にあたってのお願い 📌

1. お答えは、経営者または経営全体が分かる方にご記入をお願いいたします。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて
7月31日（水）までにご投函ください。
4. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

春日市 経営企画課 企画担当

電話：092-584-1111（代） FAX：092-584-1145

このアンケート調査はインターネットでも回答できます。

〈アンケート画面へのアクセス方法〉

1) スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードを読み取っていただくと、アンケート回答画面へつながります。

2) パソコンから

アドレス (<https://questant.jp/q/kasuga04>) を直接入力して下さい。

※インターネットで回答いただきましたら、アンケート用紙の返送は不要です。

(QRコード)



貴事業所の概要についてお伺いします

問 1 貴事業所について、あてはまる番号に○印をつけてください。

① 会社形態	1. 単独の事業所 2. 本社・本店 3. 支社・支店（本社・本店所在地： ）
② 資本金	1. 100万円未満 2. 100～300万円未満 3. 300～500万円未満 4. 500～1,000万円未満 5. 1,000～3,000万円未満 6. 3,000～5,000万円未満 7. 5,000万円～1億円未満 8. 1億円以上
③ 業種	1. 建設業 2. 食料品製造業 3. 印刷・同関連製造業 4. 金属製品製造業 5. 一般機械器具製造業 6. その他製造業 7. 電気・ガス・水道業 8. 情報通信業 9. 運輸業 10. 卸売業 11. 小売業 12. 金融・保険業 13. 不動産業 14. 飲食業 15. 宿泊業 16. 医療・福祉サービス業 17. 教育・学習支援サービス業 18. 複合サービス業 19. その他サービス業
④ 従業員数 （7月現在の人数）	従業員総数（ ）人 うち、正規社員数（ ）人 ※ 正規社員はパート、アルバイト、契約・派遣社員以外の社員
⑤ 春日市内での 事業開始からの 期間	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満 7. 20～30年未満 8. 30～50年未満 9. 50～100年未満 10. 100年以上
⑥ 主な取引先の 立地場所	1. 春日市内 2. 福岡県内 3. 九州圏内 4. 全国 5. 海外 6. その他（ ）

春日市内での事業活動について

問2 事業活動を行う上で、春日市は事業活動が行いやすいですか。(ひとつに○)

1. 事業が行いやすい 2. 事業が行いにくい 3. どちらとも言えない

問3 事業活動を行う上での春日市の強み（メリット）は何ですか。（〇は3つまで）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 取引先が近い | 13. 土地利用の規制が少ない |
| 2. 流通コストが安い | 14. 一般事務員、社員等の確保が容易 |
| 3. 市場規模が大きい | 15. パート、アルバイトの確保が容易 |
| 4. 同業者間で仕事の融通が容易 | 16. 専門技術者、研究者の確保が容易 |
| 5. 異業種間で仕事の融通が容易 | 17. 産業支援機関が充実 |
| 6. 交通の便が良い | 18. 研究機関がある |
| 7. 十分な事業用地の確保ができる | 19. 欲しい情報が入手できる |
| 8. 企業間の情報交換が容易 | 20. 周りの人間関係が良い |
| 9. 人件費が安い | 21. 生活環境が良い |
| 10. 地価、家賃が安い | 22. 大都市に近い |
| 11. 原材料の入手が容易 | 23. その他（ ） |
| 12. 競合する他社が少ない | |

問4 事業活動を行う上での春日市の弱み（デメリット）は何ですか。（〇は3つまで）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 取引先が遠い | 13. 土地利用の規制が厳しい |
| 2. 流通コストが高い | 14. 一般事務員、社員等の確保が困難 |
| 3. 市場規模が小さい | 15. パート、アルバイトの確保が困難 |
| 4. 同業者間で仕事の融通が困難 | 16. 専門技術者、研究者の確保が困難 |
| 5. 異業種間で仕事の融通が困難 | 17. 産業支援機関が不十分 |
| 6. 交通の便が悪い | 18. 研究機関がない |
| 7. 十分な事業用地が確保できない | 19. 欲しい情報が入手できない |
| 8. 企業間の情報交換が困難 | 20. 周りの人間関係が悪い |
| 9. 人件費が高い | 21. 生活環境が悪い |
| 10. 地価、家賃が高い | 22. 大都市から離れている |
| 11. 原材料の入手が困難 | 23. その他（ ） |
| 12. 競合する他社が多い | |

問5 今後の事業継続についてどうお考えですか。(ひとつに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 現在地又は春日市内で規模を拡張 | 5. 海外に移転する |
| 2. 現在地又は春日市内で現状を維持 | 6. 廃業する |
| 3. 現在地又は春日市内で規模を縮小 | 7. 未定、わからない |
| 4. 春日市外に移転する | 8. その他() |

▶ 問5の「4. 市外に移転する」を選んだ方のみお答えください

問5-1 移転先は以下のどこですか。(ひとつに○)

1. 福岡市
2. 筑紫地域(筑紫野市、大野城市、太宰府市、那珂川市)
3. 糟屋地域(古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町)
4. 宗像地域(宗像市、福津市)
5. 糸島地域(糸島市)
6. 上記を除く、福岡県内
7. その他()
8. 未定

問6 春日市内での事業活動にあたり、行政に求める支援は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 経営に関する相談 | 10. 企業マッチング機会の提供 |
| 2. 公的融資による資金支援 | 11. 技術的支援 |
| 3. 販路開拓に関する支援 | 12. 技能・技術継承への支援 |
| 4. 研究開発に関する支援 | 13. 公的支援策等の情報提供 |
| 5. 大学等との連携支援 | 14. 経営セミナー、研修 |
| 6. 企業同士の連携の支援 | 15. 人材育成 |
| 7. 異業種連携の支援(農商工連携) | 16. 人材確保 |
| 8. 新分野進出時の支援 | 17. 特にない |
| 9. 海外進出時の支援 | 18. その他() |

働き方改革について

問7 貴事業所の「働き方改革」への取組状況をお答えください。(ひとつに○)

1. 意識して取り組んでいる
2. 様子を見ながら徐々に取り組んでいる
3. 今後取り組む予定(方向性が定まり、実施に向けた準備をしている)
4. 現時点では具体的な取組の予定はない

問8 「働き方改革」の具体的な取組として、どのようなことを実施または予定されていますか。(①～⑭のそれぞれあてはまる実施状況に○をつけてください) すでに実施しているものは、過去5年で新たに導入した年についてもお答えください。

		既に 実施して いる	→ 過去5年で 新たに導入した年 (2020～2024年)	今後 取り組 む予定	取り組む 予定は ない
取 組 内 容	① フレックスタイム制、勤務間インターバル制度 ^{※1} など勤務体系の多様化	1	2	3	4
	② 短時間勤務制度	1	2	3	4
	③ テレワーク(在宅勤務) ^{※2}	1	2	3	4
	④ 時間外勤務の縮減	1	2	3	4
	⑤ 年次有給休暇の取得推進	1	2	3	4
	⑥ 育児休暇の取得促進	1	2	3	4
	⑦ 契約社員の育児休暇の取得促進	1	2	3	4
	⑧ 女性雇用の強化	1	2	3	4
	⑨ 女性管理職の積極登用	1	2	3	4
	⑩ 勤務地限定正社員制度 ^{※3} の導入	1	2	3	4
	⑪ 非正規雇用従業員の正規雇用化	1	2	3	4
	⑫ 同一労働同一賃金 ^{※4} の実現	1	2	3	4
	⑬ 副業を認める	1	2	3	4
	⑭ その他(具体的に:)	1	2	3	
→ ⑮ 特に取り組んでいない		1 (上記の取組を特に取り組んでいない場合は○)			

※1 勤務間インターバル制度: 勤務終了後、一定時間以上の「休息時間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保する制度

※2 テレワーク(在宅勤務): 従業員が会社に出社せず、自宅など自由な場所で仕事をする働き方のこと

※3 勤務地限定正社員制度: 転勤するエリアが限定されていたり、転居を伴う転勤がなかったり、あるいは転勤が一切ない雇用制度

※4 同一労働同一賃金: 職務内容が同じであれば(同一労働)同じ額の賃金を従業員に支払うべきという概念

子育て世代の社員の勤務や雇用状況について

問 9 事業所内に保育所等を設置し、子どもを預けて勤務することについて（ひとつに○）
（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）

1. すでに実施している
2. 敷地内に新築してやってみたい
3. 既存の施設等を改修してやってみたい
4. 他の事業所と合同でやってみたい
5. 実施できない、やるつもりはない

問 10 会議室等を利用した少人数制の託児室を設置し、子どもを預けて勤務することについて
（ひとつに○）（※費用等が工面できるとしたら、やってみたいか）

1. すでに実施している
2. 保育士等の派遣があればやってみたい
3. ノウハウ等の提供があればやってみたい
4. 実施できない、やるつもりはない

問 11 職場に子どもを連れて出勤（子連れ出勤^{※5}）して、勤務することについて（ひとつに○）

1. すでに実施している
2. これまでに検討、または検討している
3. ノウハウ等の提供があれば可能、または前向きに検討したい
4. 実施できない、またはするつもりはない

※5 子連れ出勤：父や母が子どもと一緒に出勤し、社員のための事業所内保育等に預けるのではなく、そのまま子どもが側にいながら仕事をするもの。

問 12 男性の育児休暇等の取得について、あてはまる番号に○をつけてください。また、すでに実施している取組のうち、過去5年の実績がある場合もお答えください。

取組内容	男性社員が育児休暇等 を取得している・したことがある	→過去5年で 実施した (2020～2024年)	男性社員が取得した 事例はないが、推進 している・していきたい	男性社員の取得を 特に推進するつもり はない
① 育児休暇	1	2	3	4
② 育児のための 部分休業 ・短時間勤務	1	2	3	4

新技術・高度技術の導入や国際化について

問 17 I・O^{※6}、人工知能（AI）等の新技術・高度技術の導入状況、利用意向について、あてはまる番号に○をつけてください。（ひとつに○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. すでに導入し活用している | 2. 関心があり、今後活用したい |
| 3. 活用したいが方法や効果がわからない | 4. 活用すべき分野がない |
| 5. 導入予定はない | |

※6 IoT: Internet of Things の略。日本語で「モノのインターネット」と言われ、様々なモノがインターネットに接続され、互いに情報交換をするモノのネットワークのこと。

問17の「2」～「5」を選んだ方のみお答えください

問 17-1 新技術の活用に向けた課題としてあてはまる番号に○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 自社への事業の活用イメージがわからない | 2. 技術・ノウハウを持った人材が不足している |
| 3. 必要なコストの負担が大きい | 4. 費用対効果が望めない |
| 5. 連携相手を探すのが難しい | 6. 適切な相談相手がみつからない |
| 7. 新技術について理解していない | 8. 特に課題はない |

問 18 貴事業所での外国人の雇用状況をお答えください。(ひとつに○)

1. 雇用している → (正社員： 人) (アルバイト・パート： 人)
2. 雇用を検討している
3. 雇用していたが今はいない
4. 雇用していない

問18の「1」～「3」を選んだ方のみお答えください

問 1 8-1 外国人を採用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 国籍に関係なく、優秀な人材を確保するため。
2. 業務上、外国語の使用が必要なため
3. 事業の国際化に対応するため
4. 職場の意識改革、活性化のため
5. 人材不足に対応するため
6. その他（ ）

アンケートは以上です。

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに 7月31日（水） までに
お近くのポストにご投函ください。